

# 「開かれた学校づくり」から発信

このコーナーでは、各園・学校の取組や様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしています。地域の皆さんには、様々な取組にご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成に関わってくださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 川内小学校

### 川内ランチ

12月4日、川内で採れたものだけを使っての給食「川内ランチ」を食べました。これは「地域で収穫される農作物に興味をもち、地域の良さを感じ、川内に誇りを持ってほしい。」と願っての取組です。集会でこの取組をしたいと話すと「ぼくの家近くの〇〇さんの畑にネギがあるので聞いてみます。」と早速交渉し、ネギを持ってきてくれました。「学校へ来る途中、白菜と大根を見つけました。」「おばあちゃんが〇〇を育てています。」「地域でネギ、大根、小松菜、白菜、サツマイモが全部そろいます。」と次から次へと嬉しいお知らせが届きました。結局、「いつも孫が世話になっているから使ってください。」「代金はいらないから、その分子どもたちにデザートを付けちゃって。」「たくさん温かいお言葉と野菜をいただくことができました。そして、感謝の気持ちでおいしくいただきました。



- ☆ぼくが一番おいしかったのは、みそ汁です。いっぱい野菜が入っていたし、おみそもいつもとちがっておいしかったです。校長先生のゆめがかなってよかったなと思いました。
- ☆今日川内ランチで、三色どんぶりがおいしかったです。ぼくは「ふるさとのお味だ」と思います。
- ☆今日川内ランチがありました。ぼくはネギを持っていき、その味がおいしかったです。肉は甘味が口でじゅわっと広がっておいしかったです。
- ☆三色どんぶり、おみそ汁、大学芋本当においしかったです。食材をくれた人にありがとうと言ってください。また、食べたいです。

## しめ縄リース作り

1年生は生活科の学習として「ふゆとなかよし～お正月をたのしもう～」の学習をしています。そこで「年末年始の準備」の一つとして、お正月飾りを作ることになり、縄作りを地域の方に教えていただきました。

わらを4本持ち、根本をくくり、足の裏で押さえて、両手をこすり合わせるようにして「なって」いきます。初めは「できません。」「わかりません。」「先生、来てください。」と言う人が多かったのですが、何本も作るうちに、だまってどんどん作り始めました。「見て！ 自分一人で作ったよ。」「分かってきた。」「もう一つ、おばあちゃんちの分も作ろう。」と、頑張っている姿が見られました。

そして、丸1時間体験して、ほとんどの人が作れるようになりました。

作った縄は、さらに水引などを付けて、お正月用のリースに仕上げ持って帰りました。

わらから、全部自分で作ったお正月飾りなので、思いもひとしおです。縄作りを教えていただいた地域の方にも感謝です。いつまでも飾っていたいですね。



## クリスマスリース作り

毎年、1年生と2年生に紙を使った工作を教えに来てくださっている、池田敬子先生が今年はクリスマスリース作りを教えに来てくださいました。

リースの土台は、針金ハンガーにプチプチクッションを巻き付けて、作ってくださっていました。そして、緑や赤、金・銀の不織布をたくさん持ってきてくださって、大きなクリスマスリース作りが始まりました。そして、土台のリースに緑色の不織布を巻き付け、そこに、赤や金色のリボンを付けたり、靴下の形に切り取ったものを貼り付けたりしました。

最後に、松ぼっくりやふうの実を飾り付けて仕上げ、世界に一つだけの紙のリースができました。いの町ならではの紙のリース。いろいろな種類の紙を使用しています。きっとサンタさんも喜んでくれたことでしょう。

